

# 海賊と金塊

プレイ人数：2～4人

プレイ時間：10～15分

対象年齢：8歳以上

## ■ストーリー

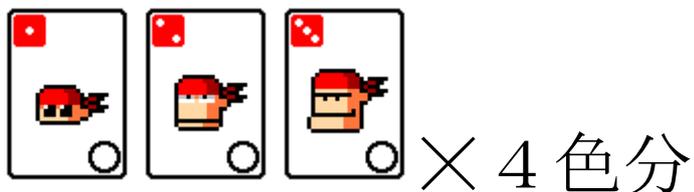
複数の海賊船が金塊のたくさん埋まった無人島にたどり着きました。船長たちはそれぞれの手下を派遣して島に配置し、金塊を自分のものにしようと思っています。自分の手下のそばに埋まっていた金塊を手に入れることが出来ますが、他の船長がもっと強い手下をその金塊のそばに置いていた場合は、相手のものになってしまいます。船長たちはどのように手下を配置するのでしょうか……。

## ■内容物

・海賊カード 12枚

(1～3の3枚×4色 赤(○)・青(□)・黄(△)・黒(◆))

左上に描かれたマークの白丸の数が、その海賊カードの「強さ」になります。

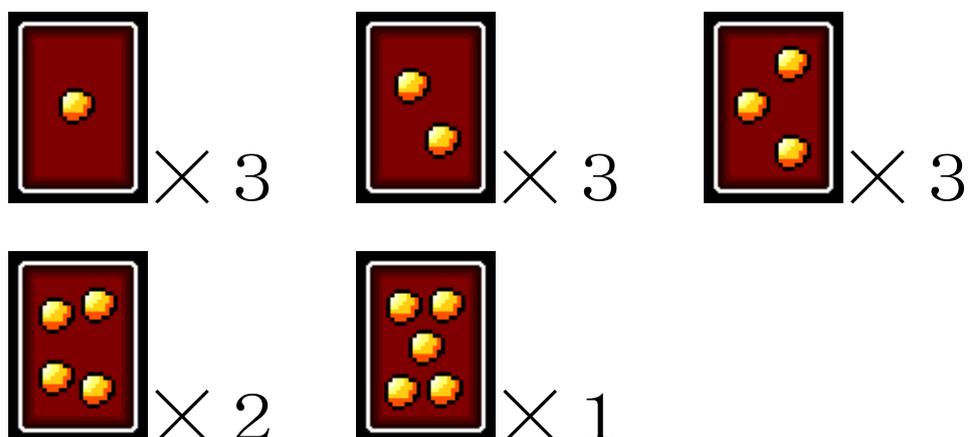


・金塊カード 12枚

(1～3点が3枚ずつ、

4点が2枚、5点が1枚)

カードに描かれた金塊の個数が、その金塊カードの「点数」になります。



## ■ゲームの目的

すでに場に出ているカードと接するようにカードを並べて置いていきます。

カードには手札から自由に出せる海賊カードと山札から引いて出す金塊カードの2種類があり、金塊カードの隣に置かれた自分の海賊カードの強さがもっとも強いプレイヤーが、その金塊カードを手に入れることができます。

手に入れた金塊カードの合計点数がもっとも多いプレイヤーの勝ちです。

## ■ゲームの準備

各プレイヤーはそれぞれ好きな色を選び、対応する色の1～3の海賊カードを手札として持ちます。

(2人プレイの時は1人につき2色選んで両方を持ちます)

金塊カードをよくシャッフルし、2人プレイなら6枚、3人プレイなら4枚、4人プレイなら3枚ずつを各プレイヤーの山札として配ります。

山札の中身を見てはいけません。

じゃんけんなどの適当な方法でスタートプレイヤーを決めてください。

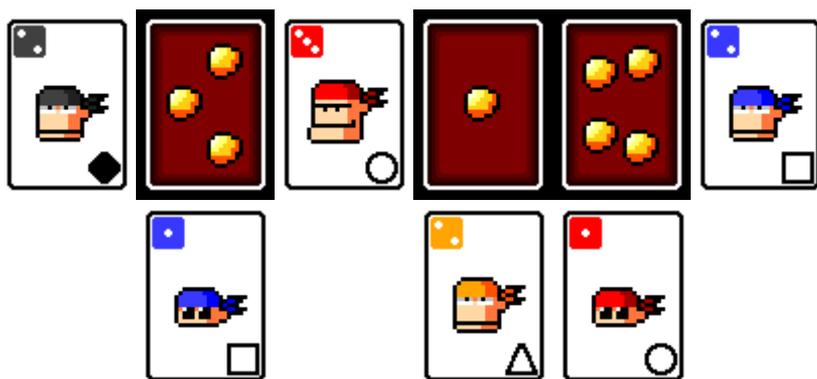
## ■ゲームの進行

手番が来たプレイヤーは、以下のAかBのうちどちらかを行います。

**A. 手札にある海賊カードの好きな1枚を選び、場に出します。**

**B. 自分の山札の一番上のカードを1枚引き、場に出します。**

AとBのどちらの場合も、カードを出す時には今出ているカードの隣に接するように出してください。場に出ているカードがまだない時（スタートプレイヤーの最初の手番の時）は、接するべきカードがまだありませんので、単にテーブルの中央にカードを1枚置いてください。



カードは既に置いてあるカードに接するように置いていく！

接するカードの種類等は制限なし

### ■ゲーム終了

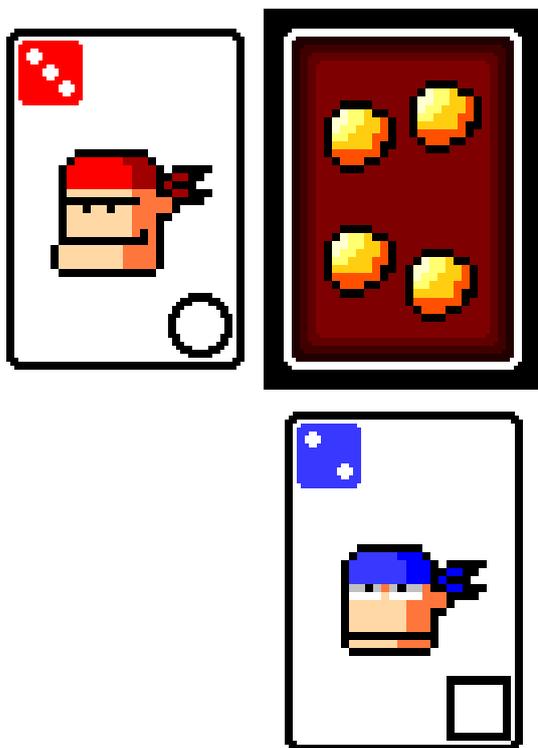
全てのプレイヤーが手札と山札のカードを出しきったら、ゲームが終了します。点数を計算して下さい。

## ■点数計算

各金塊カードごとに、接している各プレイヤーの海賊カードの合計の強さの数字を見ます。

たとえば、ある金塊カードに対して、赤プレイヤーの強さ3の海賊カードが接していて、青プレイヤーの強さ2の海賊カードが接している場合、その金塊カードは赤プレイヤーのものになります。(図1)

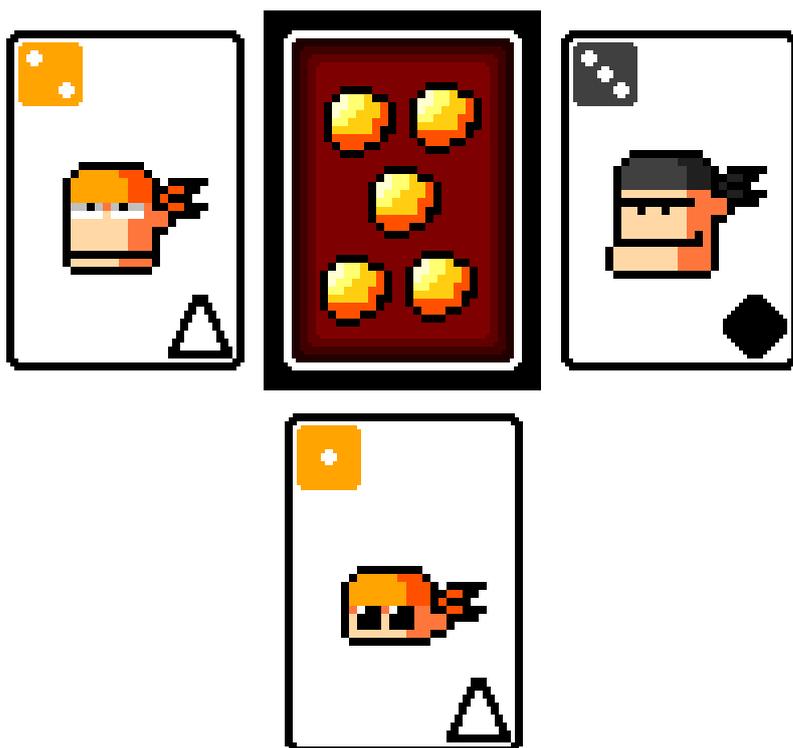
図1 金塊は赤プレイヤーのもの



合計点数が同じ場合は、枚数の多い方のものになります。

たとえば、黄プレイヤーの強さ2と強さ1の海賊カードが接していて、黒プレイヤーの強さ3の海賊カードが接している場合、黄プレイヤーのものとなります。(図2)

図2 金塊は黄プレイヤーのもの



それも同じ場合は引き分けです。金塊カードはどのプレイヤーのものにもなりませんので、裏返してその

場に置いたままにします。(図3)

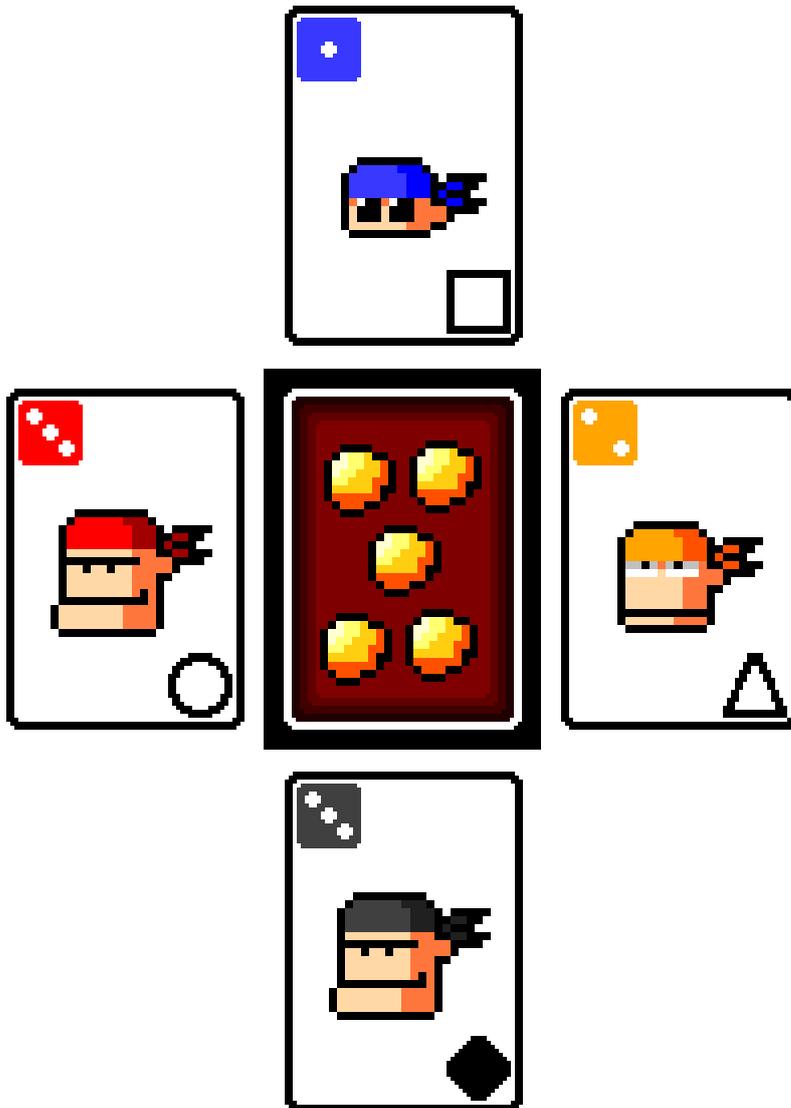
### 図3 誰のものにもならない



なお、2人プレイの場合は、担当プレイヤーが同じなら、違う色の海賊カード同士でも強さを合計します。たとえばプレイヤーAが青と赤を担当し、プレイヤーBが黒と黄を担

当している場合、青と赤、黒と黄はそれぞれ同じ色として扱います。たとえば(図4)のような場合、プレイヤーAは赤3 + 青1で強さ4、プレイヤーBは黄2 + 黒3で強さ5となり、金塊はBのものとなります。

図4 2人プレイの場合



誰のものか決まった金塊カードは、得た点数としてそのプレイヤーに渡しましょう。

全ての金塊カードが誰のものか（あるいは誰のものでもないか）決まったら、各プレイヤーは手に入れた金塊カードに描かれた金塊の個数を合計します。

合計した数をもっとも多いプレイヤーの勝ちです。合計した数も同じ場合は、合計数が同じプレイヤーの中で取得した金塊カードの枚数をもっとも多いプレイヤーの勝ちになります。それも同じ場合は、勝利をわかちあいます。

## ■連続ゲーム

ゲームごとにスタートプレイヤーを左隣のプレイヤーに交代しながら

ら、プレイ人数分の回数ゲームを行い、その合計点数（それが同じ場合は合計点数が同じプレイヤー同士の合計取得枚数）で勝利者を決めてもいいでしょう。

この場合、ゲームごとの各プレイヤーの点数と取得枚数をメモなどで記録しておいてください。

■製作 をしだや

■ルール・カードイラスト ヲシダ

■メールアドレス

datty215@yahoo.co.jp

■ツイッター

@woshida

## ■カード一覧表

### ・海賊カード 全12枚



### ・金塊カード 全12枚

